

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

# 六字城

ROKUJIJO

2022/10/1

No.695

大阪市北区東天満 1-8-26  
06-6351-3535  
http://www.tenma-betsuin.jp  
代表者 輪番・武宮 信勝



親鸞忌七六一年

## 報恩講



天満別院須弥壇、龍の彫刻

～南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう～  
宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要（慶讃テーマ）



講題 「願生浄土」

**沼 秋香 先生のご紹介**  
1947年(S.22)岐阜県大垣市生まれ  
1970年(S.45)神戸大学卒業  
1977年(S.52)研修部補導、三重教区駐在教導、教学研究所事務長、青少年部長、研修部長を歴任。  
1996年(H.8)大垣教区第一組長勝寺住職  
2010年(H.22)宗議会議員(現在4期目)  
2021年(R.3)宗議会議長

報恩講 日程	
10月3日(月)	速夜 13時30分
10月4日(火)	法話二席
10月5日(水)	結願速夜 13時30分
	御伝鈔拝読 10時
	日中 7時
	晨朝 7時
	結願晨朝 7時
	報徳会(音楽法要) 11時
	結願日中 13時30分
	法話一席

### 法要・行事予定

10月	
2日	真如上人御祥月御命日 (8時)
	～報恩講～ (3～5日)
3日	速夜 (13時30分)
4日	晨朝 (7時)
	日中 (10時)
	結願速夜 (13時30分)
5日	結願晨朝 (7時)
	報徳会(音楽法要) (11時)
	教如上人御祥月御命日
	結願日中 (13時30分)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経 (14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)
14日	巧如上人御祥月御命日 (8時)
27日	宗祖聖人御遠夜 (14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 (8時)
	法話：輪番 武宮 信勝

11月	
4日	達如上人御祥月御命日 (8時)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経 (14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)
24日	顕如上人御祥月御命日 (8時)
	定例法話 (13時30分)
	王来王家 純也師 (三重員弁組通念寺)
26日	本山御正忌団体参拝 (8時出発)
27日	宗祖聖人御正忌御遠夜 (14時)
28日	宗祖聖人御正忌晨朝 (8時)
	宗祖聖人御正忌日中 (10時)
	法話：輪番 武宮 信勝
<b>天満別院報恩講</b>	
<b>10月3・4・5日</b>	
皆さまのお参りをお待ちしております	

行き先がわかれば  
行き方がわかる  
生き方がわかる

ある寺の掲示板より

#### 今月の伝道掲示板

親鸞さまに遇いに行きましょう

真宗本廟（東本願寺）では来る11月21日（月）から28日（月）にかけて「正忌報恩講」が厳修されます。別院門徒会として、団体参拝を左記の通り計画致しました。是非ご参加下さい。

日程 11月26日（土）午前8時出発

集合 天満別院 本堂

参加費 1人5000円

今年もまた報恩講を迎えることになりました。年々一年が早く感じます。コロナ禍の中無事に迎えられることに感謝したいと思えます。報恩講にむけて職員一丸（願）となって頑張っております。どうぞ皆さまのお参りをお待ちしております。

#### 編集後記

本山（東本願寺）御用達

**(株)平安法衣舎**

〒600-8153  
京都市下京区東町本願寺大門前  
電話 (075)-351-3681  
FAX (075)-351-5563

～ご縁を大切に～

**日下念珠店**

〒600-8174  
京都市下京区烏丸通花屋町下る  
TEL075-351-6325 FAX075-341-5255  
<https://www.kyo-kusaka.jp>

コロナの感染、ロシアによるウクライナ侵攻をはじめとする国際紛争、我が国にあっては、安倍元首相の暗殺とまさに混迷する現代にあって、人々は先の見直せないことから不安や苦悩にさいなまれ続けている。いつの時代にあっても、この不安や苦悩は変えることがなかった。そのような現代に生きた宗祖は、浄土が与えられ、浄土を願生することに大いなる光明を見出された。

告知

報恩講お手伝いをお願い

来る10月3日(月)～5日(水)、例年の如く天満別院報恩講が勤修されます。つきましてはご門徒の皆様にお手伝いをお願いいたします。半日だけでも構いません。ご参加いただきますようお願い申し上げます。

日程 10月4日(火) 9時～17時まで  
10月5日(水) 9時～17時まで

野菜マルシェ開催

来る報恩講中の10月5日(水)別院向拝(本堂正面入口)にて野菜マルシェを開催いたします。花まつりの時と同じ「縁遊々えんじょい」の皆さまご協力のもと開催いたします。ぜひご参拝の際お立ち寄りください。



報告

秋季彼岸会 勤修

去る9月23日(金)秋季彼岸会並総永代経法要兼墓地納骨(物故者)追弔法要が勤修されました。御講師には、第6組願光寺茨田通俊師にお越しいただきました。コロナ禍により茨田先生の御法話は3年越しとなりました。師は、一般的に彼岸の時期は亡き人たちを偲び供養することを願われていますが、本当は亡き人たちにお浄土から願われている。悲しみや苦しみが無いのが幸せな(充実)人生だと考えているが人は生・老・病・死の事実から思い通りにならないことを受け止めて生きていくと話されていました。



茨田通俊師

内陣 清掃

去る9月7日(水)小堀仏具店による内陣の清掃が行われました。今回は宮殿、須弥壇、欄間、御厨子、前卓などを中心に清掃していただきました。素人ではなかなか掃除ができない場所を掃除でき、気持ちよく報恩講を迎えることができました。皆さんもお参りの際にぜひ注視してください。

大阪教区慶讃テーマ

来る2023年4月に勤修される慶讃法要の大阪教区のテーマが決まりました。別院墓地の壁に新しく掲載しました。



「みんなに願いがかけられている」

Q&A

お脇掛けって何?



答え

お内仏の中央にいらっしやるご本尊の左右に掛かっているお軸の事なんですけど宗派によってそれぞれ違いがあります。真宗では右は「帰命尽十方無碍光如来(十字名号)」左は「南無不可思議光如来(九字名号)」と言葉で表されています。よくご覧になっていたかと、どちらも蓮の華の上に書かれています。という事はどちらも仏様なんですけれども両方とも阿弥陀様の別名です。では、ご本尊は南無阿弥陀仏と六字のお名号になっていますが南無阿弥陀仏っ

て一体何なの?とてところが正直な思い出はありませんか?実はお釈迦様の時代の言葉でナマス・アマターバ(アマターユス)・ブツタがお名号の源なのです。ナマスとは「委ねます」とか「お任せします」という意味で帰命とも訳されます。アマダはアマターバ(無量の光)やアマターユス(無量の寿)を意味するものです。ブツダは如来様の事です。すると帰命無量寿如来も六字名号と同じ意味を持つお名号ってことが見えて参ります。昭和時代の真宗のお坊様に金子大栄(かねこだいえい)に「言葉の通じないのが地獄、言葉のいらぬのがお浄土(悟りの世界)、言葉の必要なのが人の世界。」と残してくださいました。それならば、と五劫思惟(ごごうしゆい)になつて下さったのが阿弥陀様です。言葉というのは念じるだけで私を奮い立たせる働きがあります。「ただ念仏してみだにたすけられまいらすべし」のお言葉が光輝き出します。

(第15組 大長寺 沼田 和隆)

輪番雑感

親から子に 子から孫に 伝わりにくい時に

別院のすぐ近くには、高層ビルを抜けるように国道一号线が走っている。夜10時過ぎになると少しは交通量が緩和されてくる。赤信号で停止状態になった時、中央分離帯の草むらからかすかに聞こえてくる虫の音にホッと、秋の気配を感じた。今年は特に猛暑・残暑の厳しい暑さが長く続きました。コロナ感染も少し和らぎ人混みの制限もなく以前の様子に戻りつつあります。秋彼岸が過ぎ去り、報恩講へと仏法聴聞のよき時節を迎えています。

しかし近頃は「報恩講」と言っても、真宗門徒の中にあっても関心の薄い人が年々多くなつてきています。先日別院に訪れたお方(50代半ば)に「来月の初め(10月3日～5日)報恩講さんが勤まりますので、ぜひご参拝ください」とお勧めいたしました。即座に「報恩講って、初めて聞きました。どんなことが行われるのですか?」と問われました。「真宗寺院では、宗祖である親鸞聖人のお徳を偲び、阿弥陀様の教えに耳をそばだてて、御念仏が申される私にさせていただく大切な法要が報恩講です。毎年欠かさず勤めてきた御仏事でありました。」「お恥づかしいことですが、亡き両親・祖

父母からも一度も聞いたことが無かったもので、失礼なことをお聞きしました。でもお誘いいただきだったので、平日に行なわれるみたいなので、ちょっとお参りできませぬ。」と述べられてお帰りになりました。昔の人は仏事を大切にされ、お寺の法要にもよく身を運び、特に報恩講には自分の仕事をもなげうって参拝されていました。しかしながら今日の状況は、寺離れも急速化しお寺にご参拝に来られるお方は少なくなりました。その根本要因は何なのかと憶念すれば、家庭の中で朝な夕なにお内仏(仏壇)の前で手を合わせ、「正信偈」を中心にお勤めされる人々が少なくなつたことによるのではないかと感じます。朝起きて学校に、会社に行く前に、じいちゃん・ばあちゃんから「こら! 仏さまに手を合わせて行かにやつたらん」ときびしく叱られていました。今は、叱ってくれる方がおられなくなつてしましました。大元の声が消えて、仏事相続が伝わらなくなつてしまったように思えてなりません。さあ! 声を大にして親から子に、更には我が孫に願いをかけて叫びましょう。「仏様の前で手が合はされ、頭が下がる人になつて欲しい」と。まもなく今年度の別院報恩講が厳修されます。一緒に聞法いたしましょう。御本尊阿弥陀さまがお待ちになつてくださっています。